

生涯豊島 全力投球

豊島区議会議員

平成31年も
区政改革
推進中!

竹下ひろみ

自民党
豊島区議団

一人ひとりの幸せを大切にする街づくりを進めます!

誰もが安心して暮らせる豊島へ



豊島区盲人福祉協会の武井悦子会長（左）とともに事故現場を調査する竹下ひろみ区議会議員。様々な障害を持つ方々が、いつまでも安心して住み続けられる豊島の街づくりに全力で取り組んでいます。

昨年12月7日午前4時30分頃、駒込駅北口付近の横断歩道を横断していた、近所に住む視覚障害者を持つ男性が、ワゴン車にはねられ死亡しました。

事故発生を受け、竹下ひろみは豊島区盲人福祉協会の武井悦子会長とともに現地を調査し、事故現場となった横断歩道の音声装置は、夜間（19時～翌8時）は「歩行時間延長信号機用小型送信機（シグナルエイド等）」がないと作動しないことや、夜間音量が昼間と比べ半減している事などを確認しました。

本来、最も安全であるべき横断歩道上で、このような痛ましい事故が起きてしまったという事実を重く受けとめねばなりません。

竹下ひろみは今後、豊島区では過去8年間で14個しか給付されていないシグナルエイドの普及啓発、横断歩道上へのエスコートゾーンの設置、視覚障害者向けの安全教室の開催など、事故の再発防止へ向けた、安全対策の拡充に全力で取り組んで参ります。

駒込駅北口・横断歩道上で発生した
視覚障害者死亡事故の再発防止を!

2020年東京オリンピック正式種目

スケートボードの専用施設を池袋エリアに



池袋スケートボード推進委員会の皆さんと

近年、スケートボードの競技人口は増加の一途を辿り、2020年東京オリンピックでも正式種目となりました。

池袋エリアでも競技熱は高まりを見せており、青少年の健全育成や、地域活性化にも寄与する、スケートボードを安全にできる公的な専用施設の整備推進に全力で取り組んでいます。



東京新聞朝刊（平成30年12月31日）

竹下ひろみ PHOTO REPORT 2019



▲駒込駅北口横断歩道上での交通事故を受け、盲人福祉協会長とともに、現場で巣鴨警察署長と意見交換。

▶その後、事故に関する要望書を区長と巣鴨警察署長に提出。



▲総合防災訓練に参加。感震ブレーカーのブース(写真左)視察や、都内で一台しかないVR防災車を体験。



▲池袋大橋改修工事契約議案で、区議会総務委員として現場で理事者の説明を受ける。



▲旧高田小学校跡地を視察。スポーツもできる公園に生まれ変わります！



▲南大塚一丁目南町会の防災倉庫の設置場所について町会の皆様と関係部署に陳情。

▼念願の新倉庫を視察。



▲「六つ又子育て地藏尊」が、地元奉賛会の皆様と帝京平成大学の多大なるご協力で修繕され、池袋キャンパスでお披露目。

▼修繕前の地藏尊。



平成30年 豊島区議会第四回定例会 自民党区議団を代表して質問しました

平成のその先の時代へ 持続発展し続ける豊島区を目指して



安全安心の
豊島づくりに
全力投球

●区民の信頼を守る組織体制を

竹下ひろみ区議 区の個人情報の不適切な取り扱いが相次いでいる。区の認識は。豊島区 区政への信頼が揺るぎかねない重大事態。全職員への指導を徹底する。

●池袋保健所の跡地活用について

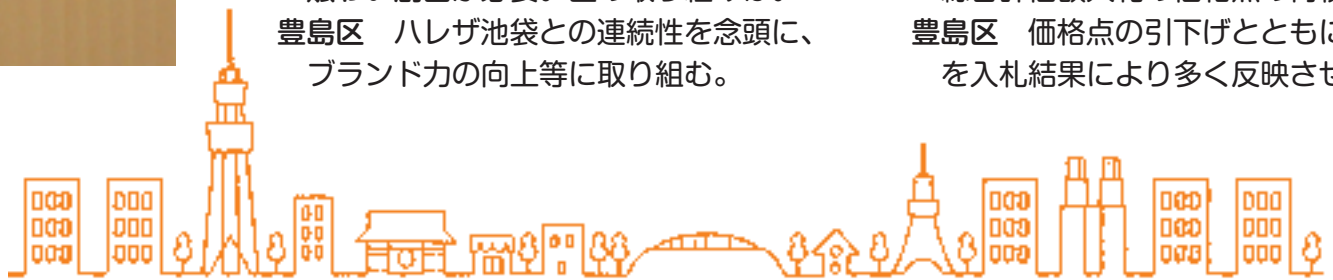
竹下ひろみ区議 ハード・ソフト両面での賑わい創出が必要。区の取り組みは。豊島区 ハレザ池袋との連続性を念頭に、ブランド力の向上等に取り組む。

●造幣局跡地の防災公園について

竹下ひろみ区議 誰からも愛される名称を公募することを提案したい。豊島区 区民参加の観点からも意義がある。前向きに取り組んで行く。

●入札制度の改善について

竹下ひろみ区議 地元企業の育成のため、総合評価額入札の価格点の再検討を。豊島区 価格点の引下げとともに、評価点を入札結果により多く反映させていく。



竹下ひろみ 主な経歴

昭和 35 年長野市生まれ／帝京大学文学部 卒業／平成 15 年 豊島区議会議員当選（以後 4 期連続）
第 67 代、70 代 豊島区議会議員長、豊島副都心開発調査特別委員会委員長等を歴任。現在：自民党豊島区議団幹事長。家族：夫、三男一女、長男嫁、孫一人



豊島区議会議員 竹下ひろみ 事務所

〒170-0013 豊島区東池袋 3-10-1

TEL.03-3985-0781 FAX.03-3980-3871

E-mail : takeshita-hiromi@toshima-jimin.jp

身近な区政の
ご相談、お待ち
しています